

Annual Meeting of the Japan Society of Vacuum and Surface Science 2021

ISO/TC 201 における表面化学分析の標準化動向 —ISO/TC 201/SC 4 および SC 7 での活動を中心に—

○永富 隆清^{1*}¹旭化成株式会社 基盤技術研究所

Trends of standardization of surface chemical analysis in ISO/TC 201 - Activities in ISO/TC 201/SC 4 and SC 7 -

○Takaharu Nagatomi^{1*}¹Platform Laboratory for Science and Technology, Asahi Kasei Corporation

表面化学分析に関する国際規格は、国際標準化機構 (ISO) に設置されている第 201 技術委員会 (TC 201) にて議論され、国際的な合意のもと現在では 73 件の ISO 規格が成立している。また、これら ISO 規格のうち 27 件は日本の国家標準である日本産業規格 (JIS, 以前は日本工業規格) として翻訳され出版されている。現在までに発行されている ISO 規格で取り扱われている事項は、表面科学分析装置のメンテナンスや試料の取り扱い、各種材料の分析法、計測データの処理、測定結果の報告など多岐にわたっている。

この表面化学分析に関する ISO 規格の出版には、欧米やアジアの国々が関わっており、その中でも日本は TC 201 設立前から深く関わっている。現在では、ISO/TC 201 の議長と事務局ならびに、TC の下に設置されている複数の SC (小委員会) において議長と事務局も務めている。さらに各委員会で推進されているプロジェクトに対して多くのエキスパートを登録し、特に活発に ISO 活動へ参画している国の一つとなっている。この ISO 活動はボランティア活動で成り立っており、アカデミカから産業界まで多くの委員のご協力のもと、進められている。

ISO/TC 201 の委員会構成は Fig. 1 の左側に示す通りである。ISO/TC 201 直下に 9 つの SC, 1 つの SG と 2 つの WG が設置されており、各 SC/SG/WG のスコープに沿って ISO 規格開発のプロジェクトが推進されている。この ISO の各 SC 等の活動に日本として対応すべく、一般社団法人表面分析技術国際標準化委員会 (JSCA) に WG が設置されている。JSCA の各 WG では、ISO/TC 201 で進められているプロジェクトについ

て国内審議を行い、プロジェクトに対する賛成/反対の投票やコメントを行う。その際は各分野の専門家としての視点に加えて、国内産業界にとってメリットとなる、あるいは不利にならない、などの産業界の視点でのコメントや投票行っている。

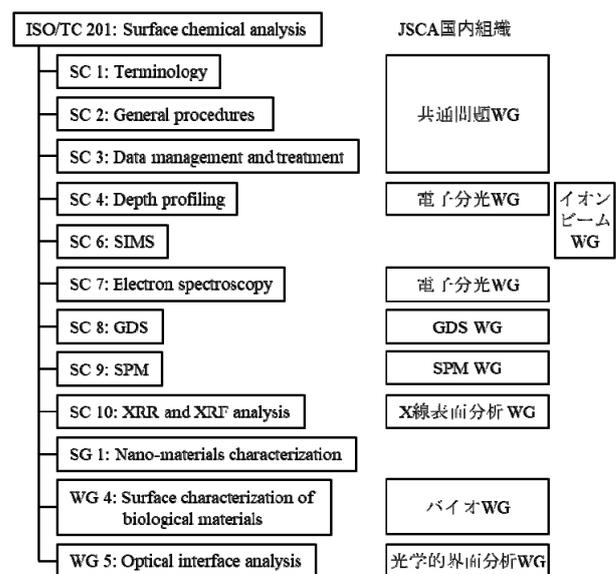


Fig. 1. ISO/TC 201 の委員会構成。

発表者はこの国際/国内組織において、国内では電子分光 WG, ISO/TC 201 では SC 4 と SC 7 の活動に主に参画している。そこで講演会では、ISO/TC 201 の最近の活動動向に関して、特に SC 4: Depth profiling と SC 7: Electron spectroscopy を中心に紹介する。

*E-mail: nagatomi.td@om.asahi-kasei.co.jp